

令和元年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価

項目	質問内容	はい	いいえ	改善目標・工夫していること等
体制整備・環境	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	活動内容に併せて、適宜空間設定をしています。面談室などを利用し個別に配慮しながら療育を行っています。
	② 職員の配置は適切であるか	4	2	芝浦教室では、児童指導員加配を基準としており、10名に対して3名の配置としています。
	③ 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	玄関に段差がありますが、事業所内は段差なく、またフロアカーペットやコーナーガードなど事故ないように配慮しています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	療育に対しては、3か月～6か月に1度個別支援計画の更新の際に、ケース会議を開催しています。月に1度の教室会議で業務についての見直しをするとともに業務分担を行っています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	令和元年10月度にアンケートを実施しています。また、担当者アンケートを実施するなど保護者の声を拾い上げることができるような工夫を行っています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	ホームページ等で公表しています。また、公表していることを重要事項説明書内で説明を行っています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	第三者評価の実施は行っていません。今後検討していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3	法人内で内部研修を毎月実施し参加しています。また、港区で開催される研修等に参加、その際も東京都代替派遣職員を利用し、事業運営に支障のないように配慮しています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	事業所独自のアセスメントツールを使用しています。また、法人内で専門職(心理士など)より適宜アドバイスやアセスメントの立ち合いなどを行っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	事業所独自のアセスメントツールを使用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	週ごとにプログラムのテーマを決め、立案しています。また、トレーニングの共有を毎日行っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	週間ごとのテーマが決まっており、それに沿ってトレーニングを立案しています。また、利用児童の特性や年齢に考慮したトレーニングを考えて作成しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	休日、長期休暇には外出やイベント事などを実施しています。保護者交流イベントや地域活動への参加などを少しずつ行っています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	保護者や児童からのニーズを面談等から聞き取り、トレーニングを考案しています。また指導員等の意見や評価を都度行い、年齢や現在の課題に沿った活動の計画を立てています。
	⑮ 支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	毎日の朝礼で予定や役割の共有を行っています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	0	毎日事業所内で終礼を実施し当日の振り返りやインシデントなどの共有を行っています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	毎日、個別支援計画に則った記録を、支援日誌として記入しています。また、週次日報、月次短信(今月の振り返り)の記入を行い保護者や関係機関との連携を図っています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	3～6か月に1度ケース会議を開催し、モニタリングを行っています。また、面談を実施し、保護者からの振り返りや課題の変化についての共有を行いながら見直しを行っています。
関係機関	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	日々のトレーニング、イベント等では、学校や家庭以外の体験が出来るよう配慮したプログラムを立てています。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	教室全体の把握として、児発管が配置されており、それに付随して指導員から担当を決め、相互で意見交換しながらケースの立案に努めています。また、関係機関との連携も適宜、児発管、担当指導員が参加しています。
	㉑ 学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	5	1	適宜学校行事への参加(運動会、学校公開等)し、共有を行っています。また、学校での課題がある児童に関しては、学校との連携をしながら支援を行うため、連携会議等へ参加しています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	現在、医療的ケア児の受け入れはありませんが必要に応じて対応します。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	適宜相談支援事業所等より、就学前の様子などの情報を提供してもらうなどしています。また、保護者より発達検査等の診断状況の提出を頂き、支援に活用させていただいています。

や 保 護 者 と の 連 携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	卒業の際は、必要に応じて情報開示を行っています。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	港区で主催されている、研修津に参加また、適宜専門機関より情報提供があった研修に参加しています。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	現在、他事業所等との児童の交流の機会は設けていませんが、野外活動等での自然な関わりの場を設けています。
	②7	協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	今年度、港区主催の地域自立支援協議会等への参加はしていません。来年度以降積極的な参加をしていきます。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	トレーニング終了時に、保護者向けにフィードバックの時間を設けさせていただいています。また、一人帰りなどの児童の保護者には、電話や面談等で振り返りを行っています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	面談等を実施した際に、適宜アドバイス等が出来るように配慮しています。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	運営規程等について、入り口にファイルにて提示しています。また、利用負担額については変更等その都度「重要事項説明書・料金別紙」にて提示しています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	担当指導員または児童発達支援管理責任者を中心に、事業所内で共有し必要に支援を行っています。また、法人内の専門職(心理士等)にも助言を求めながら支援を行うようにしています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	今年度は、「ハッピーテラスカフェ」「高尾山ハイキング」(荒天のため中止)などを企画しています。保護者交流イベントは随時今後も開催していく予定です。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	苦情解決について、担当者と、解決責任者を配置しています。また、担当者や窓口などは入り口にファイルにて提示しています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	毎月「ハッピーテラス通信」をホームページに掲載しています。また、個人の活動の振り返りについては「今月の振り返り」として翌月に発送させていただいています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	6	0	社内勉強会にて個人情報に関する研修を行いマニュアルを作成しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	それぞれの障害特性に合わせた対応方法で支援を行っています。保護者とは、電話、メール、FAXなど家族の生活背景などへも配慮しています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	現在、弊社主催の講演会などへの参加チラシの配布を行っています。また、事業所行事については、相談支援事業所等関係機関へ招待状の送付などを行っています。
非 常 時 等 の 対 応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	各マニュアルについて、保護者へは入り口のファイルにて提示しています。指導員に対しては、それぞれのマニュアルについての勉強会を実施。周知を徹底しています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	毎年9月、3月に避難訓練を実施。うち一度は消防署と連携をした訓練を実施しています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	社内外の虐待防止についての勉強会を受講しています。また、それについて伝達研修を行うなど事業所内全体で防止に努めています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	ケース会議、面談等で身体拘束についての話し合いを行い、慎重に決定しております。また、運営管理グループや専門職へ相談し、包括的に判断できるようにしています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	家族より、アレルギーや服薬状況など、必要な情報の更新を1年に1度行っています。そのなかで、配慮が必要な児童に関しては、保護者との共有を行っています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	月ごとで、インシデントについての分析、集計を行っており、年度末に年間の集計を行っています。